



一般社団法人

日本設備管理学会

The Society of Plant Engineers Japan

ご入会
(個人・賛助会員)
のお勧め



ものづくりにおける理論と 実践の融合

日本設備管理学会ではものづくりを実践している企業の持続的な発展を獲得するために、産学官のメンバーが設備管理分野における学術・技術について協業し、ものづくりに関する知識・技術・技能の革新をめざします。

入会のメリット

1. 産学一体となった各種の研究会(現在7研究会)への参加ができます。
2. 日本設備管理学会誌(毎年度4回発行)が配布されます(会員は購読料無料)。
3. 年2回開催の発表大会で発表・交流・展示する場を提供し、優待料金で参加できます。
4. 6支部によるシンポジウム・研究会・講演会・工場見学会・講習会に参加できます。
5. 企業・個人を表彰する「ものづくり大賞」・「論文賞」の受賞チャンスがあります。
6. 会員間交流、設備管理技術などに関するお問合せなどの対応が充実されています。
7. 設備管理、企業間交流、人材育成などの先進情報が得られ、ものづくりの最先端技術や多様な企業情報を知ることができ、知識獲得や学習成果につながります。

2022年度版

■ ■ ■ INDEX ■ ■ ■

■ 会長挨拶	… 2
■ 日本設備管理学会の特徴	… 3
■ 学会専門分野の分類(学門・学術による分類)	… 4
■ 学会専門分野の分類(産業応用による分類)	… 6
■ 日本設備管理学会に入会されると(特典・成果)	… 8
1. 支部事業・センター・研究会	… 9
2. 日本設備管理学会誌	… 10
3. 研究発表大会	… 11
4. 全国6支部	… 13
5. 日本設備管理学会賞「ものづくり大賞」	… 14
6. 会員交流&設備管理のお問合せ	… 15
7. 賛助会員の特典	… 16
■ 歴代会長・役員	… 17
■ 代議員	… 18
■ 委員会等の構成	… 19
■ マスタープラン(概要)/入会方法	… 20
□ 正会員・学生会員入会申込書	
□ 賛助会員(大企業用)入会申込書	
□ 賛助会員(中小企業用)入会申込書	
□ 研究室会員入会申込書	

■ 会 長 挨拶

挨拶

一般社団法人 日本設備管理学会 会長
青山学院大学 教授
松本 俊之(まつもととしゆき)



日本設備管理学会第17代会長に就任するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。
本学会に1993年に学生として入会し大変お世話になり、2003年から関東支部の幹事・支部長、2014年から本部の理事などの役員を経験させていただきました。小職はこれまで、IE(Industrial Engineering)を主体としてモノづくり現場を活性化するために、改善技術と教育システムの開発に従事しており、いくつかの企業の改善活動を支援しております。

近年、モノづくりに関する設備やコンピュータのハードウェアとソフトウェアの目覚ましい技術進歩によって、多くの生産現場でロボットや情報システムの導入が可能になっています。これらを効果的に導入するためには、その目的を明確して代替手段を検討し、導入の前に改善を実施すべきであり、その改善力を身につけるための長期的な人財育成が重要であると考えています。特に本学会の名称も含む設備管理技術は益々重要になっており、本学会が大いに貢献できると考えております。

本学会の基本は、“ものづくりにおける理論と実践の融合”であり、会員の構成も大学だけでなく企業の方々が多く所属されており、これはモノづくりにおいて非常に重要だと思います。しかし、近年では会員数の減少という大きな課題もありますが、本学会の研究会、各支部、本部役員のみなさまのご協力によって活動がcaろうじて維持されている状況です。さらにコロナ禍という厳しい状況の中、前小島会長により「つなぐ研究会」が発足し、オンライン講演会や国内・海外の工場見学などの活発な活動が実施されてきました。コロナ禍の収束がみえつつある状況で、そのもう1つの柱である人財育成も活発に計画・実施していき、さらなる活性化を実現したいと考えております。

コロナ禍で活動し難い状況下ではありますが、会員のみなさまのご協力のもとに下記の項目を実行することで、新たな時代の設備管理技術の発展に貢献したいと考えております。

学会の方針

- 1) 設備管理技術の研究開発活動のさらなる活発化を図る
- 2) 設備管理技術の意義を社会に訴える
- 3) 設備管理技術に関係する他学協会との連携を進める
- 4) 各支部・委員会・研究会活動を引き続き推進する
- 5) 上記の活動を通じて会員増強活動を推進する

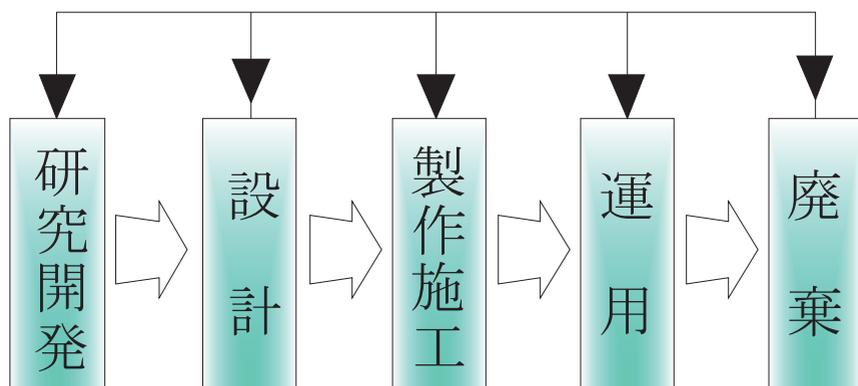
日本設備管理学会の特徴

会員構成は、産・官・学のバランスが取れています。

- ・「官(研)・学」の理論を「産」の現場で実践
- ・「産」の持つ課題を「官(研)・学」の理論で解決

双方向のアプローチで活動を進めています。

設備管理



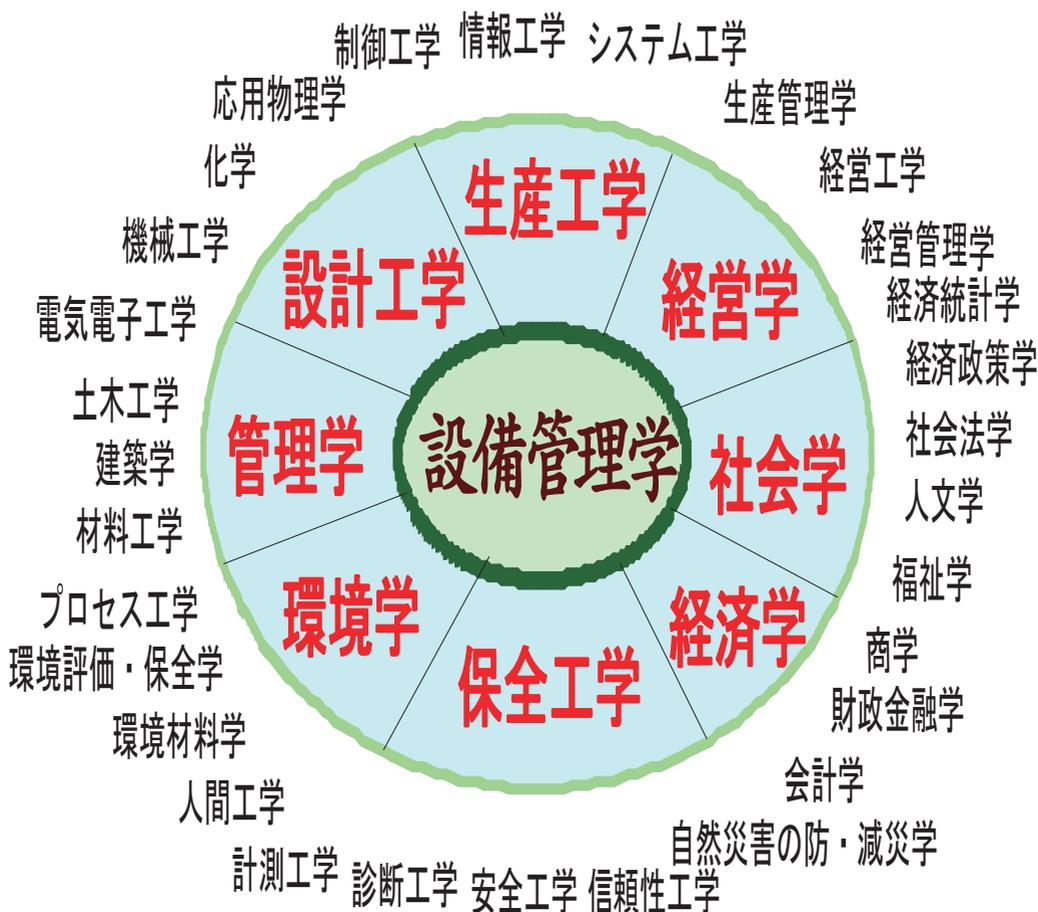
設備の一生

キーワード

ものづくり技術、メンテナンス技術、安全・安心、省エネ・省資源技術、低環境負荷、持続可能な発展、リスクマネジメント、人材育成、自然災害の防・減災学

■ 設備管理学会の専門分野 (学術・学問による分類)

「設備管理学」は幅広い学術・学問分野に関連します。貴方の専門知識もこの学会で活かす事ができます。



各専門分野の学術論文や研究発表例

(学術・学問による分類)

生産工学

- 【研究論文・技術論文】 ICTを用いた技能伝承支援装置の開発
日本設備管理学会誌、Vol.25, No.2, 2013.
- 【研究発表例】 部品リユースを伴う循環型製品のロット生産システムにおける生産計画化
平成29年度春季研究発表大会講演論文集

設計工学

- 【研究論文・技術論文】 見込生産環境における生産座席システムの研究
日本設備管理学会誌、Vol.26, No.2, 2014.
- 【研究発表例】 物理モデルを用いた機器の損傷評価・損傷予測
平成27年度春季研究発表大会講演論文集

管理学

- 【研究論文・技術論文】 周辺視野を活用した目視検査における視距離が欠点検出に及ぼす影響
日本設備管理学会誌、Vol.26, No.4, 2015.
- 【研究発表例】 保温保冷付炭素鋼製配管外面腐食管理への取り組み
平成25年度秋季研究発表大会講演論文集

環境学

- 【研究論文・技術論文】 製造ラインにおける動線分析機器の開発と応用に関する研究
日本設備管理学会誌、Vol.25, No.1, 2013.
- 【研究発表例】 地球環境問題機能体系図を用いた効果的な環境教育ツールの開発
平成27年度春季研究発表大会講演論文集

保全工学

- 【研究論文・技術論文】 物理モデルを用いた回転軸系の動的挙動の解析
日本設備管理学会誌、Vol.29, No.2, 2017.
- 【研究発表例】 局所フレキシビリティ行列に基づく柱状構造物基部の損傷推定法
平成29年度秋季研究発表大会講演論文集

経済学

- 【解説】 需要・経済系のマネジメント法 第3回 製品/企業戦略と松井の方程式
日本設備管理学会誌、Vol.26, No.3, 2014.
- 【研究発表例】 リユース・サプライチェーンにおける回収量の時間変化が経済発生量に及ぼす影響に関する一考察、平成26年度秋季研究発表大会講演論文集

社会学

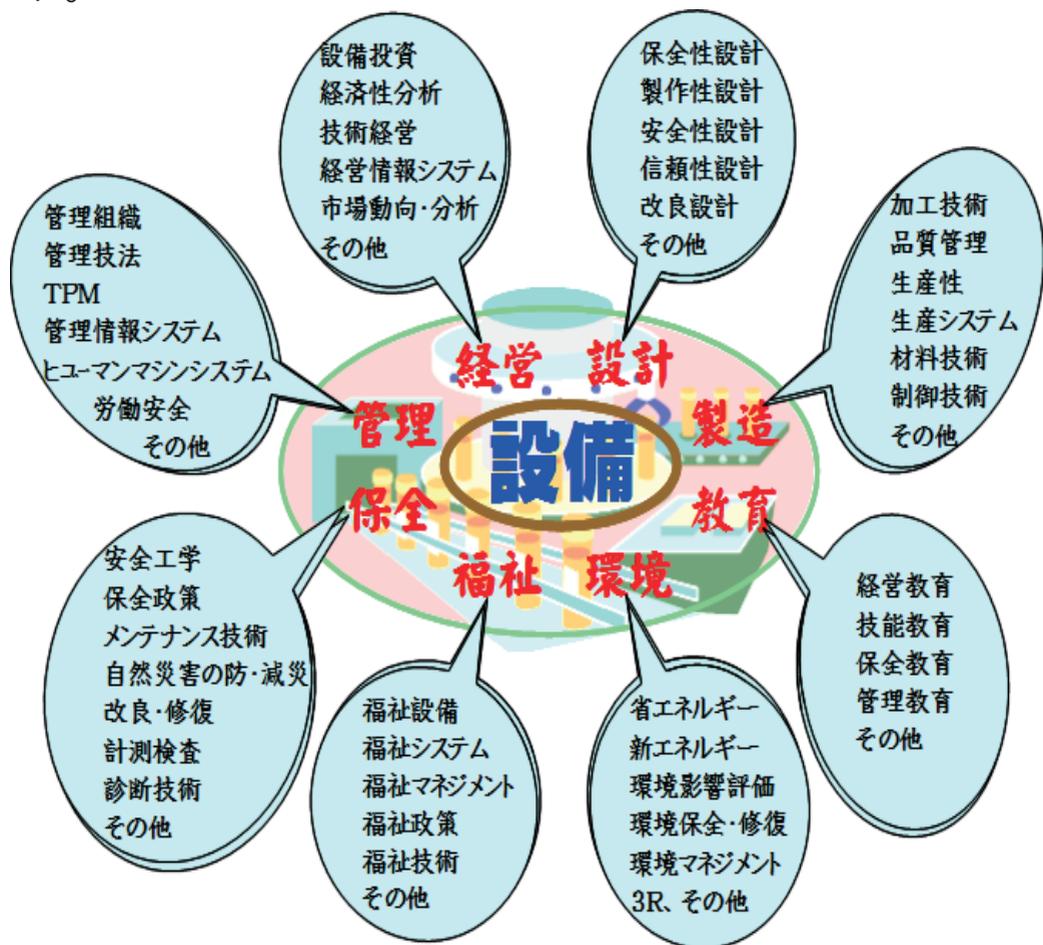
- 【研究論文・技術論文】 スーパーマーケットにおける避難シミュレーションに関する基礎的検討
日本設備管理学会誌、Vol.27, No.1, 2015.
- 【研究発表例】 オンライン受注生産型製造業におけるライフバランスを考慮した女性活用のための考察、平成27年度春季研究発表大会講演論文集

経営学

- 【解説】 需要・経済系のマネジメント法 第4回 ERP/SCM、経済系およびGDPのマネジメント化、日本設備管理学会誌、Vol.26, No.4, 2015.
- 【研究発表例】 リユース部品の物理・機能寿命分布がハイブリッド再製造システムの運用に及ぼす影響、平成29年度秋季研究発表大会講演論文集

■設備管理学会の専門分野 (産業応用による分類)

「設備管理学」は全ての産業・業界に関連しますので、
貴方の専門知識を応用し発展させることのできる場
です。



各専門分野の学術論文や研究発表例 (産業応用による分類)

経営

- 【研究論文・技術論文】 POSデータによる最適な稼働レジ台数の予測に関する一考察
日本設備管理学会誌、Vol.27, No.1, 2015.
- 【研究発表例】 需要プランナーと組立ラインプランナーの統合に関する事例研究
平成26年度秋季研究発表大会講演論文集

管理

- 【解説】 重大事故を防止するためのTPM活動
日本設備管理学会誌、Vol.27, No.2, 2015.
- 【研究発表例】 エンジニアリングチェーンからみた組立作業における作業負担評価法の活用
平成27年度春季研究発表大会講演論文集

保全

- 【研究論文・技術論文】 ショートタイムFFT、周波数領域の特徴パラメータおよび正準判別法による軸受複合異常診断法
日本設備管理学会誌、Vol.29 No.2, 2017.
- 【研究発表例】 高ノイズ環境下でのバケットエレベータ低速転がり軸受の状態監視・診断法
～平成29年度春季研究発表大会講演論文集

福祉

- 【研究論文・技術論文】 高齢者デイケア施設における設備レイアウトの調査・分析法
日本設備管理学会誌、Vol.29, No.3, 2017.
- 【研究発表例】 IE手法にもとづく介護福祉サービスの質向上と効率化を目指した作業改善
～特別養護老人ホームを事例として～
平成27年度春季研究発表大会講演論文集

環境

- 【研究論文・技術論文】 LED光照射によるキンジソウの生体電位と空気浄化能力
日本設備管理学会誌、Vol.25, No.3, 2013.
- 【研究発表例】 MQL方式を用いたチタン合金の旋削加工
平成27年度春季研究発表大会講演論文集

教育

- 【研究論文・技術論文】 ERPコンピエールの操作 eラーニング教材の開発と実証授業
日本設備管理学会誌、Vol.29, No.3, 2017.
- 【研究発表例】 「ものづくり」知恵リンピック「J」モデルの就業前若年層への展開に関する有用性と克服課題
平成29年度春季研究発表大会講演論文集

製造

- 【提案論文】 生産対応と在庫対応を可能にする在庫補充方式の提案
日本設備管理学会誌、Vol.26, No.3, 2014.
- 【研究発表例】 動作改善演習のための教材開発とその検証
平成26年度秋季研究発表大会講演論文集

設計

- 【研究論文・技術論文】 画像処理・音響処理を用いた睡眠時無呼吸検知技術の開発
日本設備管理学会誌、Vol.27, No.1, 2015.
- 【研究発表例】 機能および技術の選択のための意思決定プロセスに関する考察
平成25年度春季研究発表大会講演論文集

■ 日本設備管理学会に入会されると

入会の特典と成果

1. 研究活動

産学一体となった研究会（本部登録）への参加ができます。

2. 日本設備管理学会誌（毎年度4回発行）

「日本設備管理学会誌」が配布されます（会員は購読料無料）。
学会誌へ最新の研究論文、改善事例等が掲載できます。
企業・団体・大学の広告掲載ができます（各掲載は有料）。

3. 研究発表大会

年2回開催される発表大会（春季・秋季）で発表する場を提供し、
発表大会へは優待料金で参加できます。

4. 全国6つの支部活動

全国の6支部によるシンポジウム・研究会（本部登録）・講演会・
見学会に参加できます。

5. 日本設備管理学会賞（ものづくり大賞・論文賞）

新たなものづくりに挑戦した企業・個人を表彰する「ものづくり大賞」
・「論文賞」において優先的に選考します。

6. 会員交流&お問合せ窓口

本部イベント、支部活動、研究会活動などをホームページ、メール
マガジンを通じ御案内し、会員間交流を促進させ、設備管理に関
する問合せなどにも対応いたします。

7. 賛助会員・学生会員・研究室会員

経営成果に寄与できる設備管理、企業間交流、人材育成などの先進
情報を得ることができます。

ものづくりに関する多用な最先端な企業活動を知ることができます。

1. 支部事業・センター・研究会

【支部事業】

- 東北支部
講演会, 見学会等 (支部長; 秋田県立大学 嶋崎 真仁)
- 関東支部
春季研究発表大会, 講演会, 見学会等 (支部長; 千葉工業大学 滝 聖子)
- 東海支部
設備保全シンポジウム, 学生発表会, 見学会等 (支部長; 名古屋工業大学 荒川 雅裕)
- 北信越支部
秋季研究発表大会, 講演会, 見学会等 (支部長; 福井高専 小越 咲子)
- 関西支部
講演会, 見学会, 協賛事業等 (支部長; 大阪工業大学 皆川 健多郎)
- 西部支部
講演会, 見学会 等 (支部長; 高田工業所 劉 信芳)

【センター】

- 人材育成研究センター (センター長; 丸山 正男)

【研究会】

- 最新設備診断技術の実用性に関する研究会 (主査; 三重大学 陳山 鵬)
- 知能技術応用研究会 (主査; ファジィシステム研究所 玄 光男)
- 環境・福祉と設備管理研究会 (主査; 三条市立大学 伴 浩美)
- 就労支援技術研究会 (主査; 障害者職業総合センター 武澤 友広)
- 無線振動センサーを用いた設備の状態監視に関する研究会 (主査; 中山水熱工業(株) 中山 慎司)
- IOTを用いたスマートメンテナンス研究会 (主査; 日産自動車(株) 小林 洋)
- つなぐ研究会 (主査; ㈱デンソー 小島 史夫)

2. 日本設備管理学会誌

購読・投稿・表彰

■ 購読無料

会員には最新の研究論文、改善事例等を掲載した学会誌を毎年4回お届けします。

■ 論文、活動成果の投稿

学会誌へ研究論文・事例研究の投稿ができます。

※ 別途掲載料が必要になります。

優秀論文には、日本設備管理学会賞(論文賞)を授与します。

学会誌 掲載内容例 Vol. 33 No. 2
(2 0 2 1 年 7 月 発 行)

Journal of the Society of Plant Engineers Japan
日本設備管理学会誌
Vol. 33 No. 2 [124] 2021. 7

C O N T E N T S

2021年度 秋季研究発表大会 発表募集

研究論文	1	作業の自動化難易度と自動化率を考慮した人とロボットのハイブリッド組立ラインの設計法 宮内 孝、山田 哲男、杉 正夫
研究論文	12	部品組み立て作業における 作業・工程設計発案のためのIoTシステムの開発 石田 建祐、荒川 雅裕
提案論文	21	処理順序を示す補助線を用いた 非先入先出の処理フローにおける累積グラフの応用 市来善 治、宮原 英一、榎樽 純也、奥原 和幸、本間 正昭、 高野 翔太、吉田 信太郎
速報論文	29	コードデータの誤入力原因分析と修正方法への一提案 藤川 裕晃、古野 晴基
解 説	37	石油化学および石油精製のためのTPM活動(4) 松山 久敏
学会記事	45	西部支部 「2021年度 日本設備管理学会 オンライン西部支部総会・講演会」

日本設備管理学会誌

Journal of the Society of Plant Engineers Japan

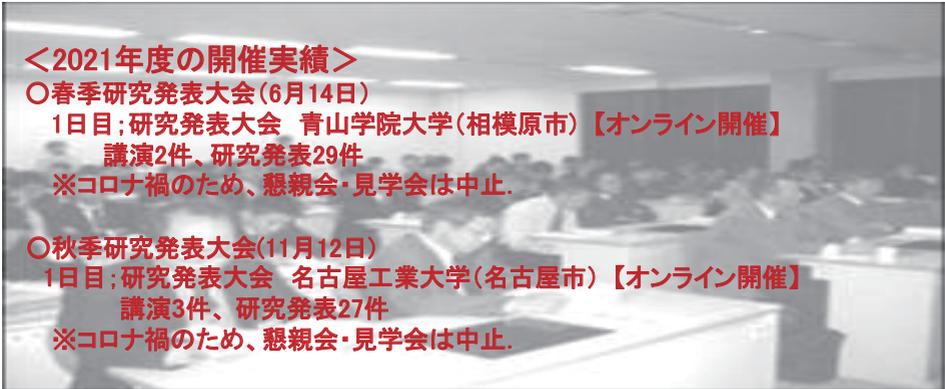
www.sopej.jp/

3. 研究発表大会(その1)

研究発表大会は、春季(原則東京)と秋季(各支部輪番)の年2回開催します。(発表と見学会の2日間)

開催内容、日程

- 1日目;特別講演,「ものづくり大賞」受賞記念講演, 研究発表, 企業(商品)PRコーナーに出展できます(有料).
発表終了後の交流・懇親会では会員相互の親交を深めます.
- 2日目;工場見学会
大会会場近郊でものづくり企業や地域の見所を見学します.



<2021年度の開催実績>

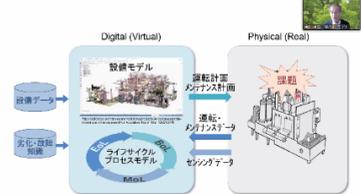
○春季研究発表大会(6月14日)

1日目;研究発表大会 青山学院大学(相模原市)【オンライン開催】
講演2件、研究発表29件
※コロナ禍のため、懇親会・見学会は中止.

○秋季研究発表大会(11月12日)

1日目;研究発表大会 名古屋工業大学(名古屋市)【オンライン開催】
講演3件、研究発表27件
※コロナ禍のため、懇親会・見学会は中止.

モデルベース・メンテナンスマネジメント



<2022年度の開催実績と予定>

○春季研究発表大会(6月13日)

1日目;研究発表大会 青山学院大学(相模原市)
講演2件、研究発表29件
※コロナ禍のため、懇親会・見学会は中止.

○秋季研究発表大会(11月1日) 予定

1日目;研究発表大会
大阪工業大学(大阪市)
※コロナ禍のため、研究発表大会のみ開催予定.

3. 研究発表大会(その2)

2019年度 創立30周年記念 春季研究発表大会

大会1日目/6月6日(木)

オープニングセッション

『学会会長のあいさつ』 早稲田大学 高田祥三氏

『設備管理学会の30年』 九州大学 松山久義氏

『学会への期待』 日本プラントメンテナンス協会会長 土屋総二郎氏

特別講演①:

「トヨタの技能伝承、人づくり ～生産ライン運営と進化の基礎」

デジタル化技術とのスパイラルアップに向けて

トヨタ自動車(株) グローバル生産推進センター主査 高橋智和 氏

パネルディスカッション:

「デジタルトランスフォーメーション時代の設備管理」

モデレータ 名古屋工業大学 萩原正弥氏

パネリスト 東京大学 梅田 靖氏、(株)デンソー 石橋基弘氏、

オークマ(株) 國光克則氏、(株)KSKアナリティクス 山田賢太郎氏

大会2日目/6月7日(金)

特別講演②:

「IoT推進のためのプラスチック成形加工業界における成形条件情報の共有化とその効果」

(一社)西日本プラスチック製品工業協会 事務局長 平田園子 氏

特別講演③:

「TPMの設備管理領域において解決出来ている事・これから研究して解決しなければならない事」

(株)日本能率協会コンサルティング 取締役 守田義昭 氏

一般講演:26件

2022年度 春季研究発表大会

テーマ:デジタル×フィジカル

特別講演:「ライフサイクルメンテナンスマネジメントのすすめ

—フィジカルにデジタルを活かすためには—

早稲田大学 高田祥三 氏

招待講演:「デジタルとフィジカルの交差点—ファブラボという社会の中の実験室—」

神奈川大学 道用大介 氏

一般講演:32件

4. 全国の6支部

全国6支部主催による、シンポジウム・講演会・工場見学会などに参加できます。

支部連絡先

- 東北支部
- 関東支部
- 北信越支部
- 東海支部
- 関西支部
- 西部支部



■東北支部

秋田県立大学 経営システム工学科
支部長 嶋崎 真仁
TEL ; 0184-27-2149
E-mail ; shima@akita-pu.ac.jp

■関東支部

千葉工業大学 経営情報科学科
支部長 滝 聖子
TEL ; 047-478-0348
E-mail ; seiko.taki@it-chiba.ac.jp

■北信越支部

福井工業高等専門学校
支部長 小越 咲子
TEL ; 0778-62-8280
E-mail ; ogoshi@fukui.kosen-ac.jp

■東海支部

名古屋工業大学
支部長 荒川 雅裕
TEL ; 052-938-3535
E-mail ; m.arakawa@nitech.ac.jp

■関西支部

大阪工業大学 工学部環境工学科
支部長 皆川 健多郎
TEL ; 06-6954-4318
E-mail ; kenraro.minagawa@oit.ac.jp

■西部支部

株式会社高田工業所 理事
支部長 劉 信芳
TEL ; 093-632-2502
E-mail ; ryuu@takada.co.jp

5. 日本設備管理学会賞「ものづくり大賞」

「ものづくり大賞」を毎年表彰しています。

(新たなものづくりに挑戦し範となる企業・個人)

受賞特典と受賞歴

「ものづくり大賞」を受賞すると、つぎのメリットがあります。

1. 新聞・雑誌・ホームページに受賞内容が掲載されます
2. 日本設備管理学会誌に受賞論文(又は事例)が掲載されます
3. 日本設備管理学会誌に掲載の広告ページをご提供します
4. 表彰時の研究発表大会へ無料ご招待, 受賞記念講演が行なえます
5. 表彰時の研究発表大会で企業PRコーナーに無料でご出展できます

受賞年度	これまでの「ものづくり大賞」・「論文賞」受賞団体及び個人
2012	<p><ものづくり大賞> ●東海パネ工業㈱</p> <p><論文賞> ■発生する音の周波数成分による自動車盗難事象の判別方法に関する研究 ■動特性を利用したエアコンの診断 ■ポンプ設備の知的精密診断法 -ファジィ・サポートベクターマシンの適用-</p>
2013	<p><ものづくり大賞> ●榊山田製作所 ●研機㈱</p> <p><論文賞> ■発達障害のある人の就労環境に対する福祉機器の導入可能性に関する検討</p>
2014	<p><ものづくり大賞> ●該当なし</p> <p><論文賞> ■該当なし</p>
2015	<p><ものづくり大賞> ●榊半谷製作所</p> <p><論文賞> ■フィールドバス通信対応型自動調節弁の固着検出(1)-因子分析モデルの利用-</p>
2016	<p><ものづくり大賞> ●HILLTOP㈱</p> <p><論文賞> ■画像認識を用いたプラント操作情報提示システム ■潤滑油の新還元添加剤による粘性および寿命評価の手法</p>
2017	<p><ものづくり大賞> ●日本アイ・ティ・エフ㈱</p> <p><論文賞> ■該当なし</p>
2018	<p><ものづくり大賞> ●該当なし</p> <p><論文賞> ■該当なし</p>
2019	<p><ものづくり大賞> ●該当なし</p> <p><論文賞> ■Hybrid Genetic Algorithm with Auto-tuning Parameters and K-mean Clustering Strategy for Multimodal Optimization ■ディープラーニングによる設備診断法 -HDTEOとRBM自己適応特徴抽出による低速軸受異常診断法- ■ディープラーニングによる設備診断法 -画像コーディングに基づくCNN法による回転機械構造系異常精密診断-</p>
2020	<p><ものづくり大賞> ●榊下村漆器店</p> <p><論文賞> ■誘導電動機電流微候解析によるコラム形水中ポンプの状態監視に向けた計測試験</p>

6. 会員交流 & 設備管理のお問合せ

学会ホームページで会員交流の場やメールマガジンによる設備管理情報の配信を進めています。

設備管理情報の提供

設備保全技術、設備診断技術、
生産管理、ものづくり技術、
改善・改革技術、環境と設備etc

会員の皆様へ設備管理に関する技術・学術などの情報をタイムリーに提供しています



設備管理の個別相談，講演会，セミナー，その他ご案内などの対応も進めています。

講演会、研究会、セミナー情報



秋季研究発表大会会場



東海支部学生研究発表会会場

- ・最新成果発表
- ・産官学連携
- ・学術・技術交流



「最新設備診断技術の実用性に関する研究会」会場

7. 賛助会員の特典

賛助会員とは、本会の目的に賛同し、その事業に賛助する法人又は団体。



設備管理、経営支援

1. 経営に有効な設備管理情報の提供を行います。
2. 設備管理に関する社内セミナー企画及び講師をご紹介します。
3. 設備管理活動を外部へ発信される場合の見学会等の開催に関する相談をお受けします。
4. 「ものづくり大賞」団体賞への選考対象となります。
5. 設備管理に関する学術的な調査活動を行います。
6. 研究発表会、企業PRコーナーでの出展を優遇します。
7. 学会誌の企業・団体広告欄へ優先掲載と掲載料を半額にします。

歴代会長

任 期	氏 名	所 属(就任当時)
1989～1990年度	中井 重行	小松短期大学 学長
1991～1992年度	大和田 国男	不二越(株) 社長
1993～1994年度	千住 鎮雄	慶應義塾大学 教授
1995年度	楠 兼敬	日野自動車工業(株) 会長
1996年度	中嶋 清一	(株)日本プラントメンテナンス協会 特別顧問
1997年度	芹沢 良夫	ジャトコ(株) 相談役
1998～2000年度	熊谷 智徳	名古屋工業大学 名誉教授
2000～2002年度	山品 元	京都大学 教授
2003～2004年度	松本 和男	(株)デンソー 専務取締役
2005～2006年度	阿部 秀雄	カルビー(株) R&Dグループ 執行役員
2007～2008年度	川合 忠雄	大阪市立大学 教授
2009～2010年度	松山 久義	早稲田大学 教授
2011～2012年度	酒井 寿治	愛知機械工業株式会社 社長
2013～2017年度	奥村 進	滋賀県立大学 教授
2018～2019年度	高田 祥三	早稲田大学 教授
2020～2021年度	小島 史夫	(株)デンソー エグゼクティブアドバイザー
2022年度～	松本 俊之	青山学院大学 教授

役 員

(五十音順)

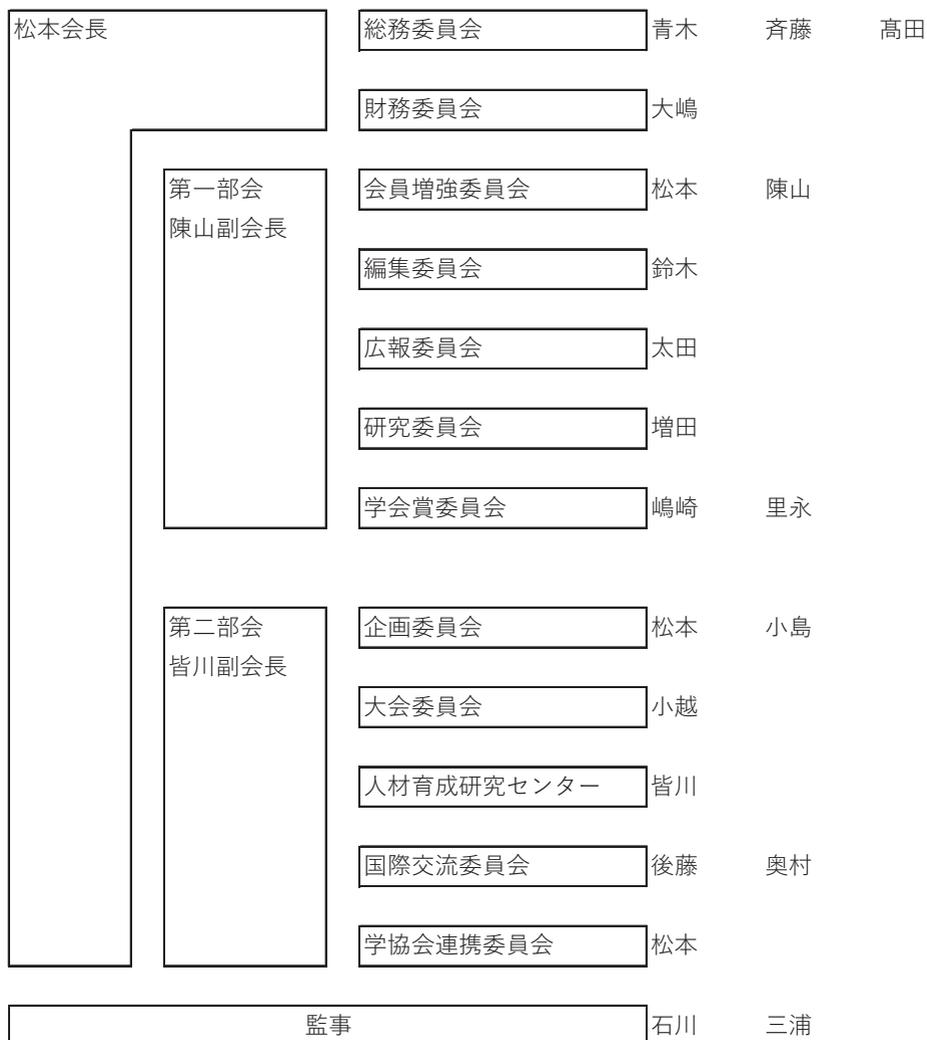
役 員	氏 名	所 属
会 長	松本 俊之	青山学院大学
副会長	陳山 鵬	三重大学
副会長	皆川 健多郎	大阪工業大学
理 事	青木 良太	日産自動車(株)
理 事	大嶋 昌巳	千代田化工建設(株)
理 事	太田 博光	水産大学校
理 事	奥村 進	滋賀県立大学
理 事	小越 康宏	福井大学
理 事	小島 史夫	(株)デンソー
理 事	後藤 時政	愛知工業大学
理 事	斉藤 耕治	秋田県産業労働部
理 事	里永 憲昭	崇城大学
理 事	嶋崎 真仁	秋田県立大学
理 事	鈴木 淳	独協大学
理 事	高田 祥三	早稲田大学
理 事	増田 新	京都工芸繊維大学
監 事	石川 君雄	国際経営技術研究所
監 事	三浦 靖一郎	国立高等専門学校機構 徳山工業専門学校

代議員

支部	定数	氏名	所属
東北	2	齊藤 耕治	秋田県産業労働部
		嶋崎 真仁	秋田県立大学
北信越	2	小越 康宏	福井大学
		南保 英孝	金沢大学
関東	8	青木 良太	日産自動車(株)
		大嶋 昌巳	千代田化工建設(株)
		大友 浩司	三木プーリ (株)
		小林 洋	日産自動車(株)
		鈴木 淳	獨協大学
		滝 聖子	千葉工業大学
		肥田 拓哉	青山学院大学
		山田 哲男	電気通信大学
東海	7	荒川 雅裕	名古屋工業大学
		後藤 時政	愛知工業大学
		杉谷 卓志	荒川工業(株)
		中山 慎司	中山水熱工業(株)
		成田 浩久	名城大学
		藤井 彰	日本製鉄(株)
		春日井 和義	愛知製鋼 (株)
関西	3	木村 圭志	阪急電鉄 (株)
		増田 新	京都工芸繊維大学
		皆川 健多郎	大阪工業大学
西部	3	太田 博光	水産大学校
		小谷 悟	三菱ケミカル (株)
		劉 信芳	(株)高田工業所

組織、委員会の構成

2022年度 組織図（敬称略）



■マスタープラン(概要版)

5月	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぐ研究会 ・東北、関東、東海、西部 支部総会 ・東北支部講演会(東北) ・設備保全シンポジウム(東海) ・西部支部講演会(西部) 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季研究発表大会(大阪工業大学) ・学会賞表彰式 ・理事会 ・就労支援技術研究会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・春季研究発表大会(青山学院大学) ・社員総会 ・理事会 ・最新設備診断技術の実用性に関する研究会 ・つなぐ研究会 ・人材育成研究センター ・北信越、関西 支部総会 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぐ研究会 ・設備管理イノベーション見学交流会(関西)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援技術研究会 ・人材育成研究センター 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・IoTを活用したスマートメンテナンス研究会 ・就労支援技術研究会 ・人材育成研究センター
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぐ研究会 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・最新設備診断技術の実用性に関する研究会 ・知能技術応用研究会 ・環境・福祉と設備管理研究会 ・無線振動センサーを用いた設備の状態監視に関する研究会 ・つなぐ研究会 ・東北支部研究発表会(東北) ・学生研究発表会(東海) ・設備管理イノベーション見学交流会(関西)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・知能技術応用研究会 ・環境・福祉と設備管理研究会 ・無線振動センサーを用いた設備の状態監視に関する研究会 ・IoTを活用したスマートメンテナンス研究会 ・設備管理北信越支部研究発表会(北信越) ・JC-Workshop 2022・研究発表会(北信越) 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研究センター
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・上期 会計監査 ・最新設備診断技術の実用性に関する研究会 ・環境・福祉と設備管理研究会 ・つなぐ研究会 ・人材育成研究センター ・設備管理イノベーション見学交流会(関西) 	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 ・前年度 会計監査 ・人材育成研究センター

学会への入会方法

添付の入会申込書(正会員・学生会員、賛助会員用、研究室会員)に、所定の事項をご記入の上、日本設備管理学会事務局まで郵便あるいはファクシミリでお送り下さい。到着次第、請求書ならびに関連資料をお送りいたします。入会は随時受け付けております。入会後は特にお申出のない限り、1年毎の自動継続となります。

入会申込書送付先

〒461-8580
名古屋市中区白壁三丁目12-13 中産連ビル新館 3階
一般社団法人日本設備管理学会 事務局 担当者
TEL 052-931-7077 FAX 052-931-5195
E-mail: sopej@chusanren.or.jp

正会員、学生会員(学生・研究生)、賛助会員(会社・工場・部門・団体・法人)、研究室会員(大学・高専の研究室)の皆様へ、ご入会をお待ちしています!!。詳しくは、「日本設備管理学会 事務局」にお問合せ下さい。

注意1.退会される場合は、本会定款11条(本会HPに揭示)により、書面をもってその旨を会長に届けて頂きます。

注意2.会費を納入せず、督促後なお1年以上納入しない場合は、本会定款12条により除名することもあります。

一般社団法人日本設備管理学会 入会申込書

賛 助 会 員 (中小企業用)

申込日 年 月 日

(ふりがな) 会社名 団体名			
代 表 者	(ふりがな) 氏 名		
	役 職		
連絡先 [請求書・学会誌 等の送り先]	住 所	〒 都道府県	
	電 話		FAX
	(ふりがな) 氏 名		
	事業所		
	所 属		
	役 職		
	所在地	都道 府県	
	電 話		FAX
	入会口数	口	
希望所属支部	1.希望する 2.希望しない (いずれかを選択) 1.を選択された方 ()支部希望 (下記①～⑥より選択) ①東北 ②関東 ③北信越 ④東海 ⑤関西 ⑥西部 2.を選択された方は、所属の都道府県となります。又、海外の方は別途ご案内致します。		
ホームページURL			
[会費] 会費年額 1口 10,000 × 口数 (会員登録完了後、請求書送付)			

入会申込先 〒461-8580 名古屋市東区白壁三丁目12-13 中産連ビル 新館3階

一般社団法人日本設備管理学会 事務局 担当者

TEL:052-931-7077 FAX:052-931-5195 E-mail:sopej@chusanren.or.jp

.....<事務局記入欄>.....

受 付	請 求	入 金	定 款

会員No. _____

(A4サイズに拡大コピーしてご使用ください)

一般社団法人日本設備管理学会 入会申込書
(研究室会員用)

申込日 年 月 日

(ふりがな) 大学名							
担当教員 (正会員)	(ふりがな) 氏 名						
	会員番号	所属支部					
	学部・学科名						
	研究室名						
	所在地	都道 府県					
	Email						
	電 話				F A X		
本年度 の学生名簿 (記載スペースが不足する 場合は、別紙を 添付可)	(ふりがな) 氏 名	学 年	(ふりがな) 氏 名	学 年			
入会動機	当会へのご入会についてお聞かせ願います。() 内に○またはレ印を 1. 関係先からの紹介 () 企業名・学校名をお聞かせ願います _____ 2. ホームページを見て () 3. その他 ()						
[会 費]	<input type="checkbox"/> 研究室会員 会費年額 10,000 円						

入会申込先 〒461-8580 名古屋市中区東区白壁三丁目12-13 中産連ビル 新館 3階

一般社団法人日本設備管理学会 事務局 担当者

TEL : 052-931-7077 FAX : 052-931-5195 e-mail: sopej@chusanren.or.jp

(A4サイズに拡大コピーしてご使用ください)

